

第4期

知的財産人材育成スクール 上級コース

募集要項

対象企業

東京都内に事業所を置き、知財人材の育成が必要と考えている、もしくは知財経営に興味がある中小企業
※大企業(みなし大企業を含む)の方、士業及びコンサルタントの方、創業前の方、社団・財団法人の方等の受講はご遠慮頂いております。

開講期間

令和7年11月6日(木)～令和8年3月19日(木)

会場

(公財)東京都中小企業振興公社
 東京都知的財産総合センター 地下大会議室
 (東京都台東区台東1-3-5 反町商事ビル地下1階)

募集企業数

10社程度(1社2名まで参加可能)
※応募者多数の場合、応募書類をもとに選考を実施、受講企業を決定します。
 ※受講者の途中変更はできません。

受講料

5万円/1社
※受講決定後、お振込みされた受講料は返金いたしません。予めご了承ください。

募集期間

令和7年8月19日(火)～令和7年10月10日(金)

申込方法

公社HPの申込フォームからお申込みください。
※右記のQRからページを読み取りいただけます。
 お申し込み後、3営業日以内に受付確認メールを送付いたします。
 連絡がない場合は、お手数ですが、以下問い合わせ先までご連絡ください。



選考結果の通知

電子メールにて通知いたします。
※@tokyo-kosha.or.jpからのメールを「受信許可」として頂くよう、お願いいたします。

事前説明会を開催します

本スクールのカリキュラムや特長について、講師と事務局が説明します。
 お申し込みを悩まれている方はお気軽にご参加ください。

開催日

9月上旬から随時開催。

事前説明会の詳しい日程と
 お申し込みはこちら



問い合わせ先

第4期

年間 9,000件 を超える相談実績をもつ知財センターが開講！

知的財産人材育成スクール



知的財産の社内のスペシャリストを
 育成してみませんか



上級コースではこのような人材を育成します！

- ✓ 知的財産に関する応用的な知識を習得し、担当者の中核として活躍できる人材
- ✓ 自社の目的・状況を踏まえて上司や専門家と一緒に議論できる人材
- ✓ 自社の知財戦略を検討・提案できる人材

知的財産人材育成スクール **上級コース** とは

「知的財産権を適切に管理して、弁理士や特許庁との交渉を任せられる人材がほしい！」

そう考えたことはありませんか？

東京都知的財産総合センターでは、そのような悩みを解決するために知的財産人材育成スクールを開講しています。今回募集する上級コースは、講義、グループワーク、個別支援を通して、知的財産の各分野における応用的な知識と活用方法を体系的に学ぶことができるコースです。

知的財産のスペシャリストを育成したい都内中小企業の方は、ぜひこの機会にご参加ください。

スクールの特長

1 「双方向」「実践型」「知財活用」の3つの視点によるカリキュラム！

双方向

グループワークやケーススタディを数多く盛り込んだ双方向型講義

実践型

法律知識にとどまらない実務ですぐに使える知識・ノウハウを伝授し、個別支援にて実践

知財活用

知的財産を事業活動にどのように活用するかという視点を踏まえた講義

2 講義での「インプット」と、グループワークと個別支援での「アウトプット」がセット！

インプット

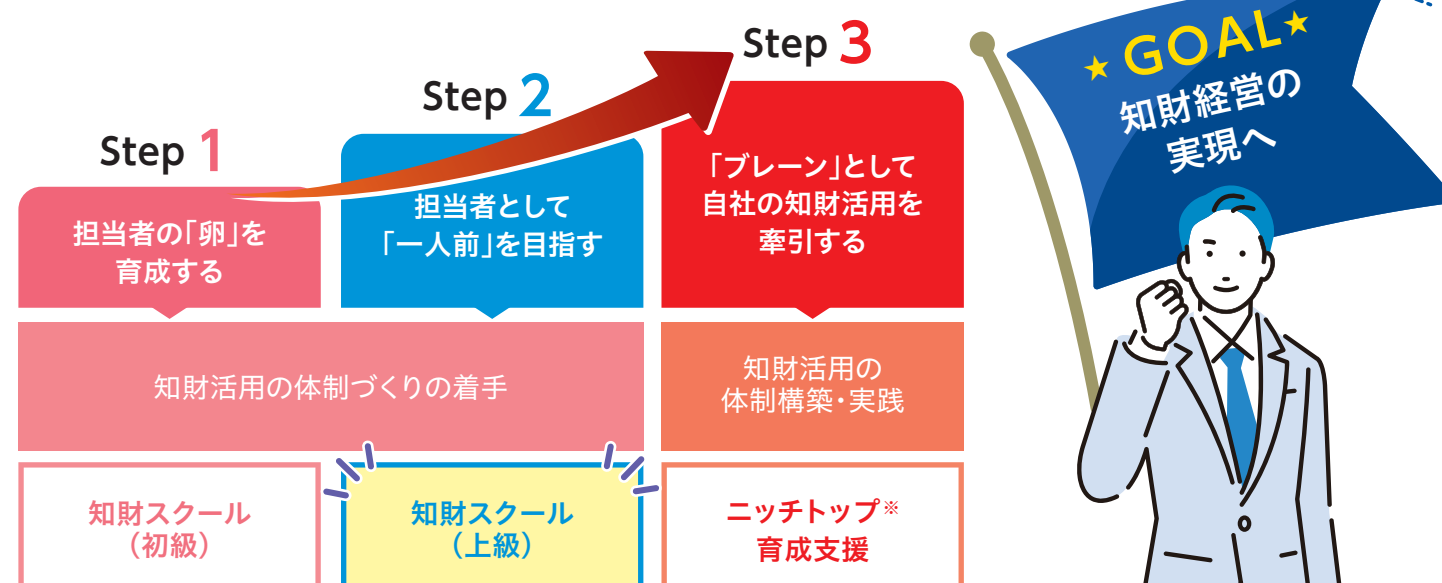
講義

アウトプット

グループワーク
(ケーススタディの検討)
個別支援

これにより、知的財産における知識の定着と実践的な気づきを促します。

知財スクールを含めた知財活用支援の全体像



※ニッチトップ育成支援…都内中小企業が知財戦略導入をした経営を行えるようになるため、当センターのアドバイザーが最大3年間の継続的な相談・助言を行う支援

カリキュラム

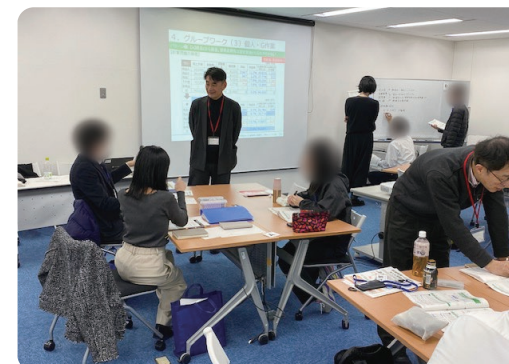
開催時間はいずれも14:00～17:00です。

番号	開催日	木	カテゴリ	テーマ	内容	講師
1	11月6日	木	オリエンテーション	オリエンテーション	目指す知財人材の姿、自社の強み分析、スキル向上シートの説明など	田久保 泰夫 氏 中村 貴彦 氏 知財センター事務局
2	11月13日	木	個別論点	商標・ブランド	外国商標概要（パリルート、マドプロルート）、ブランド管理、中間処理対応、商標権の侵害など	田久保 泰夫 氏
3	11月20日	木		特許・実用新案①	戦略的な特許管理、中間処理対応、優先権、分割出願など	
4	12月4日	木		特許・実用新案②	外国特許概要（パリルート、PCTルート）、侵害とは？ 侵害対応など	
5	12月11日	木		意匠・デザイン	意匠の活用事例、国内出願の手続き、中間処理、海外出願など	中沢 ふみ枝 氏
6	12月18日	木		著作権	著作権法の目的、職務著作、著作権侵害、著作権の制限、契約など	城田 晴栄 氏
7	1月8日	木		知財情報の見方	指定商品、指定役務の選定方法、商標の類否判断、キーワード検索、特許分類など	田久保 泰夫 氏
8	1月15日	木	応用論点	知財契約①	契約書作成のチェックポイント、契約交渉術、BATNA、事例問題（共同研究開発契約書）など	黒田 義博 氏
9	1月22日	木		知財契約②	契約書作成のチェックポイント、契約交渉術、BATNA、事例問題（ライセンス契約書）など	
10	2月5日	木	活用視点	知財活用	経営目線の知財活用とは？ 経営戦略に沿った16の知財活用方法の組合せの事例など	中村 貴彦 氏
11	2月12日	木		担当者が担う知財戦略	知財担当が担う知財戦略、現場での知財戦略の考え方、知財担当が押さえるべき知財の活用など	丹羽 匡孝 氏
12	2月19日	木		外部リソース	産学連携の意義・メリット・デメリット、連携先の探し方・連携の流れとポイント、公的機関による支援など	神谷 直慈 氏
13	3月5日	木		知財と会計	会計とは？ 知財と会計の関係、知財の見える化の事例など	中村 貴彦 氏
14	3月12日	木		経営層とのコミュニケーションの進め方	経営層との経営×知財のコミュニケーション、知財を活用した経営デザインと事業計画の事例など	
15	3月19日	木	修了式	まとめ・修了式	まとめ、修了証交付など	田久保 泰夫 氏 中村 貴彦 氏 知財センター事務局

※カリキュラム内容は予告なしに変更する場合がございます。

個別支援（各月1回程度）

講義風景



過年度受講生の声

- スクール修了後、商標の見直しや再出願をしました。また、海外出願にも繋がりました！
- 社内で、知財については自分に聞けばいいという雰囲気ができ、著作権や公知にたくない情報などの相談もくるようになりました。
- 模倣品対策やライセンス契約など、知財に関する実利的な面も見えるようになり、知財に取り組むことへの意義が社内で共有されました。
- 社内で職務発明制度を整備することになり、社内で知財に関することへしっかり取り組む雰囲気が出来ました。